

お





もー

二人とも
見張しないで

魔物がきたら
どうするの？

火があるから
寄ってこないさ



え

ちよつと何

もう寝るん
ですけど



手持ちのない
アンタを

オレらが
はぐれた仲間の

とこまで連れって
やるんだからさ

それまでイイ思い
させてくれよ



なあ

言われなくても

わろっ

さっさと
済ませてよ

明日の探索に
備えたいんだから

魔法使える
物知りさんでも

こっち方面は
ウブなんだな
反応ヤサギ♡



頼む



だってそんなのツ
魔法と関係ないもん









おわり



あんた

それ
どうしたんだい
すいぶんちがいで...

?え?

キ



あッ

ハーフトリ
なってる...

カッ

たぶん
キノコ踏んだ...



か、体洗わなきや

えッ

サッ

泉があった
とこまで
連れてって...!

まあ

まあ
おちついて



こんな機会
滅多にないからな
ハーフトなんて

昨日したばっか
じゃない!?

くちゅ
くちゅ



えっ?

人間は年中
発情期でな

付き合って
くれよ

いったっ

体小さいんだから
いたわってよ

んっ

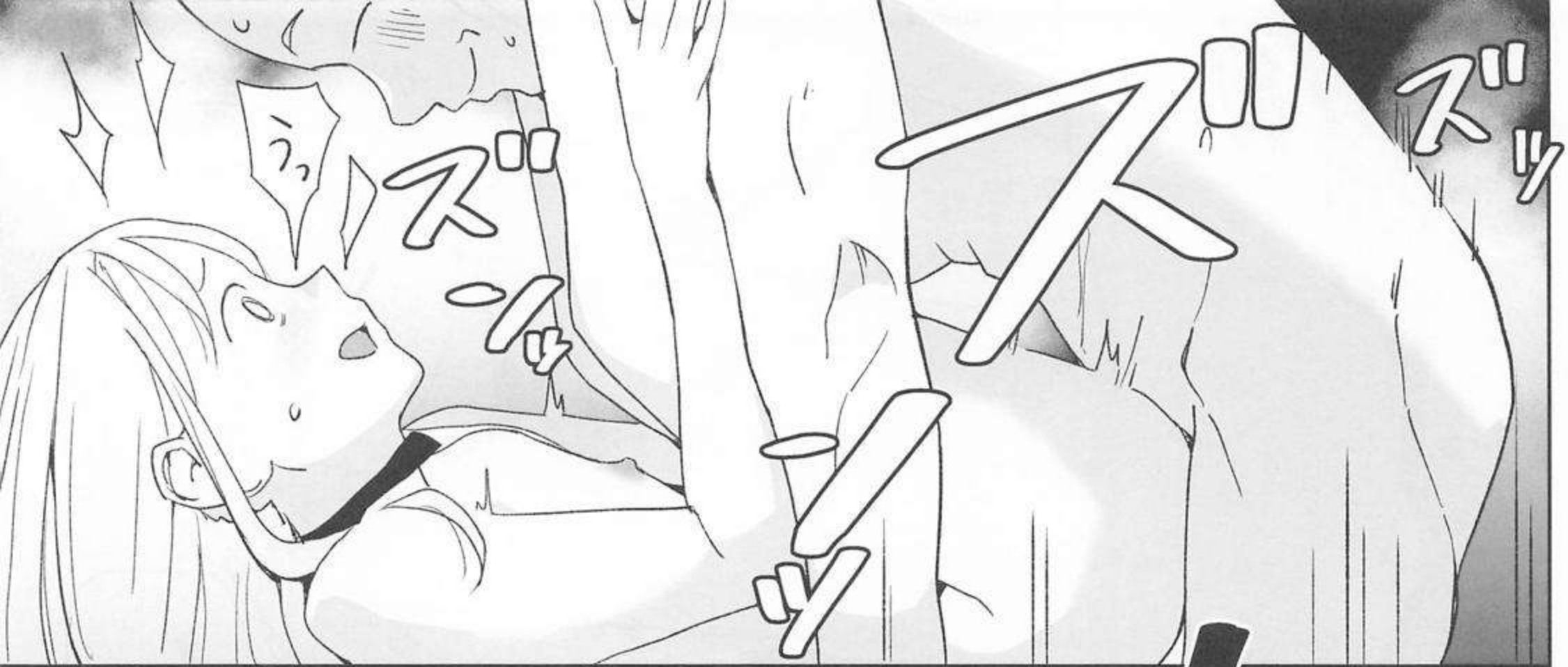
くちゅ

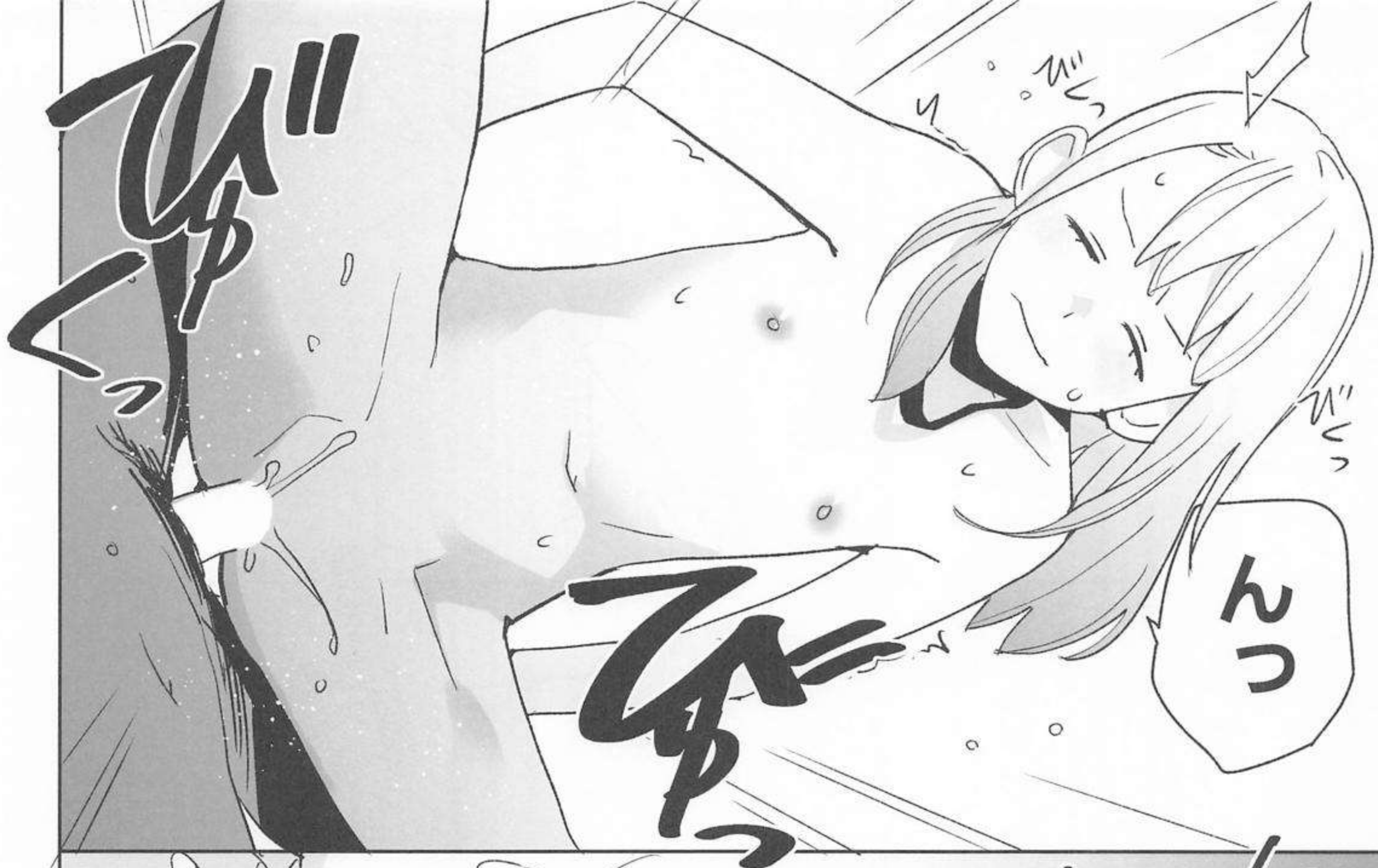
ちゅ
ぱっ

れちゅ

ちゅ
ぱっ

ズキッ





おあり

『えっ』

発行日:2025/12/31

発行者：空中線/マキオ

印刷：株式会社 栄光

MAIL:nekodaisukimko@gmail.com

18歳未満閲覧禁止

無断複製無断アップロード、無断AI学習を禁止します。

本書掲載作品は全てフィクションです。

実在の人物、団体、事件とは一切関係ありません。

空中線